



早野 崇英 講師

本研究により解決される課題

がんを含むゲノム異常が関係する疾患
ヒトをはじめとした、全ての生物

技術の内容

次世代シーケンスデータ解析
遺伝子発現解析
ゲノム解析
シングルセル解析

業績例

1. Hamada K, Abe T, Oishi K, Murata Y, Hirano T, Hayano T, Nakatsui M, Asai Y, Matsunaga K. Unsupervised identification of asthma symptom subtypes supports treatable traits approach. Allergol Int. 2025 Jul 28:S1323-8930(25)00078-4. doi: 10.1016/j.alit.2025.06.004. Epub ahead of print. PMID: 40730774.

技術の独自性・優位性

常に最先端のバイオインフォマティクス解析技術を導入することができる。

共同研究

山口大学共同獣医学部（大瀨剛先生）
名古屋大学（島田緑先生）

現在得られているデータの概要

大腸がんのシングルセル解析による、線維芽細胞の単離
コホート研究での遺伝子型の同定や遺伝子発現の定量

遺伝子発現解析の図

